

第五十二回帝國議會
衆議院

銀行法案外四件委員會會議錄(速)第九回

會議

昭和二年三月五日(土曜日)午後二時十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小野 義一君

理事 荒井 建三君

理事 佐々木長治君

理事 清水 長郷君

加藤政之助君 川崎安之助君

佐藤富十郎君 信太儀右衛門君

淺川 浩君 永田善三郎君

山口 嘉七君 鹽田 團平君

神崎 勳君 山口恒太郎君

平山爲之助君 木暮武太夫君

小川郷太郎君 金光 庸夫君

原 夫次郎君 前田房之助君

山口 左一君

同月四日委員中山貞雄君五日委員山本厚三君、菅原英伍君、佐藤實君、高島順作君執レモ辭任ニ付其ノ補闕トシテ四日高島順作君、五日佐藤富十郎君、淺川浩君、永田善三郎君、前田房之助君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 片岡 直溫君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 武内 作平君

大藏省主稅局長 黒田 英雄君

大藏省銀行局長 松本 脩君

司法參與官 八並 武治君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

大藏書記官 加藤榮一郎君

司法書記官 赤羽 熙君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

銀行法案(政府提出)

貯蓄銀行法中改正法律案(政府提出)

農行銀行法中改正法律案(政府提出)

北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)

府提出)

非訟事件手續法中改正法律案(政府提出)

提出)

○小野委員長 是ヨリ第九回委員會ヲ開會致シマス、質問ハ前回ニ於テ一應盡キマシタノデ、當時御諮リヲ致シマシタ通り、今日ハ討論ニ入ル筈デアリマスガ、豫テ留保サレタル前田君ノ御質問ヲ御許シ致シマス、前田君

○前田委員 目下我國ノ經濟狀態カラ推シマシテ、手形特ニ商業手形ノ運用ヲ簡易且ツ圓滑ナラシムルト云フコトハ最モ必要デアラウカト思ヒマス、政府モ近ク日本銀行條例ノ改正ヲ爲サラウト期待シテ居ルノデアリマスガ、ソレニ關聯致シマシテモ矢張此事柄ハ非常ニ必要デアラウト思フノデアリマ

ス、御承知ノ如ク英米各國ニ於キマシテモ、此手形ノ確實性ヲ帶ビテ居ルカドウカモ十分調査致シテ、或ル場合ハ政府ハ是ニ保證モ爲シ、又進ンデ割引ヲ爲ス、斯様ナ機關ガ相當整備サレテ居ルノデアリマスガ、私ハ目下ノ我國ノ經濟狀態カラ見マシテ、此種ノ機關ヲ設置スルコトガ最モ必要デナカラウカト思ヒマス、ソコデ政府ニ御尋申上ゲタイノハ、今申上ゲタ趣旨ニ基イテ、即チ手形ノ確實性ガアリヤ否ヤト云フコトヲ十分調査ヲ致スト云フコト、又或ル場合ハ割引ヲスル、又或ル場合ハ之ヲ保證スルコト云フ所ノ有力ナル會社ヲ拵ヘテ、サウシテ其手形ナリ特ニ商業手形ニ對スル圓滑ヲ圖リ、又簡易ナラシメルト云フ會社ヲ拵ヘラレル意思アリヤ否ヤ、此點ヲ御尋申上ゲタイト思ヒマスガ、併シ此會社ハ單ニ民間ノミヲ以テシテハ到底完全ヲ期スルト云フコトハ困難ナル事情ガアラウカト思フノデアリマス、此目的ヲ達成スルガ爲ニハ、矢張政府ノ相當ナル援助ニ俟ツコトガ必要デアラウカト思フノデアリマス、從テ此會社ヲ拵ヘマスニハ、矢張半官半民の一大手形引受會社ガ必要デアルト思フノデアリマスガ、政府ハ此必要ヲ認メラレテ今申上ゲタル趣

付託議案

銀行法案(政府提出)
貯蓄銀行法中改正法律案(政府提出)
農工銀行法中改正法律案(政府提出)
北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)
非訟事件手續法中改正法律案(政府提出)
兌換銀行券整理法案(政府提出)

旨ニ基イテ手形引受會社——官民合同ニ依ル此會社ヲ御拵ニナル所ノ意思ヲ有セラレルヤ否ヤト云フ事ヲバ、大藏大臣ニ先以テ御尋申上ゲタイト思フノデアリマス

○片岡國務大臣 只今ノ前田君ノ御質問ハ、金融界ニ取ッテ極メテ重大ナル關係ヲ有スル事柄デアルト思ヒマス、大體ニ於キマシテ商業手形等ノ流通ヲ圓滑ナラシメナケレバナラヌト云フ事ニ於キマシテハ、政府ハ餘程其必要ヲ重ク考ヘマシテ、日本銀行ノ制度ノ改善ト云フ事ニモ、此目的ヲ達スルヤウニシタイト云フ事ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、手形ノ流通ヲ滑カナラシムルト云フ事ニ付テハ、今前田君ノ御述ニナリマシタヤウナ會社ガ出來マスレバ頗便宜カト存ジマス、サリナガラ凡ソ物ハ利ガアレバ必ズ害ガアル、ソコデ其利害關係ヲ餘程考ヘテ見ナケレバナラヌ、又政府ガ其一分ノ資本ヲ持ッテ掛ルト云フガ如キ事ニナリマスルト、言フ迄モナク閣議ノ決定ヲ要シナケレバ確定ト云フ譯ニハ參リマセヌ、旁今御尋ニ對シテ、直ニ斯ウ云フ意思ヲ持ッテ居ルト明ニ申上ゲルコトハ出來兼ネマス、御質問ノ趣旨ハ頗ル良イ事トハ存ジマスガ、果シテ是ガ今日ニ於テ能ク

出來ルカ否ヤ、出來ルトスレバドウスレバ宜イカト云フコトハ、是ハ餘程考慮スルト同時ニ、金融制度調査會等ニモ諮ラテ見ナケレバナラヌコトデアリマス、篤ト考慮シテ見ヤウト云フ事ヲ申上ゲルヨリ外、茲ニ的確ナル御答ヲ申上ゲル譯ニハ參リマセヌ

○前田委員 只今ノ質問ニ依リマシテ、其趣旨ニ對シテハ政府ハ御贊成デアルカノ如クニ聞及ビマシタノデ、成程之ヲ的確ニ今御答辯下サルト云フコトハ政府トシテハ責任上御困難ナル事ガアラウト思ヒマスカラ、私ハ是レ以上此質問ニ對シテハ申サヌ積リデアリマス、唯希望トシテ政府ガ速ニ今申上ゲタ趣旨ノ下ニ、速ニ相當ナル御考慮ヲ下サルト云フコトガ、我が金融ノ現狀ニ照シテ最も必要デアルト云フコトヲ申上ゲマシテ此點ハ質問ヲ致シマセヌ、第二ト致シマシテ——一言御斷リヲ申上ゲタイノハ、私ハ本月初メテ此會ニ出席致シマシタノデ、或ハ既ニ質問ヲナサレタ方ガアルカモ知レズ、又質問モ重複スル虞ガアルカモ知レヌト思フノデアリマスガ爲ニ、極ク簡單ニ申上ゲタイト思フノデアリマス、ソレハ曩ニ設立サレタ所ノ金融制度調査委員會ノ事デアリマス、之ニ附帶シタ問題デアリマスルガ、今回御提案ニナツテ居ル所ノ此銀行法案ハ、成程前ノ銀行條例ニ比較致シマスレバ、改善ノ跡ハ確ニ吾々ハ認ムル者デアリマス、併ナガラ

此銀行法ノ實施ニ方ツテ、若シ此運用宜シキヲ得ザル場合ニ於キマシテハ、地方金融ノ圓滑ヲ動モスレバ阻礙スルト云フヤウナ惡影響ガ起リハシナイカト云フコトヲ私ハ憂ヘルノデアリマスガ、是ハ本會議ニ於テモ、既ニ委員會ニ於テモ、相當質問ガアッタヤウデアリマシマス、唯此運用ヲ誤ル場合ニ於キマシテハ、地方金融ガ現在以上ニ壓迫ヲ被ル、吾々同志ト致シテハ度々論議セテモ、地方ヨリ集メタ金ハ努メテ地方ノ産業ノ爲ニ投資ヲ願ヒタイ、斯様ナ事ヲ再三吾々同志トシテハ希望致シテ居リマスガ、從前カラノ種々ナル關係カラシテ、未ダ吾々ノ希望スルガ如クニ地方ニハ還元サレテ居ラヌノデアリマス、又此銀行法ノ改正ニ付キマシテモ、若シモ政府ノ合同ノ方針ナルモノガ、大都會ノ銀行ニ之ヲ合同スルト云フヤウナ方針ノ下ニ合同サレマスナラバ、申ス迄モナク地方ノ銀行ト云フモノハ都會ノ大銀行ノ支店、出張所ニ化シテシマフ虞ガアル、斯様ナ譯デドウ致シテモ合同ノ方針トシテハ成ベク地方ノ銀行ハ地方ノ銀行同志合同スル、斯様ナル方針ヲ政府トシテハ取ツテ戴クコトガ洵ニ結構デアラウト思フノデアリマスガ、是モ既ニ御質問ニナツテ居ルヤウニ聞及ンデ居リマスカラ、御尋ヲ致サヌノデアリマス、唯特ニ今日御

尋申上ゲタイト思フノハ、斯ノ如ク地方金融ノ動モスレバ壓迫サレントスル今日ニ際シテ、金融制度調査委員ノ顔觸ヲ見マス、學者ニアラズンバ大銀行ニ關係ヲ持ッテ居ル人達ヲ以テ殆ド網羅サレテ居ル、地方的銀行ノ色彩ノアル所ノ所謂銀行家ナリ關係者ト云フモノハ、一人モ此調査委員ニナツテ居ラヌデアリマス、隨テ此調査委員會ニ於テ研究サレテ居ル事柄ガ、動モスレバ自己ノ利害ノ上カラ判斷サレテ、サウシテ地方金融ヲ輕視サレト云フヤウナ傾向ガ起リハシナイカト云フコトヲ私ハ憂ヘテ居ルノデアリマス、未ダサウ云フ事ハナイカモ知レマセヌガ、私ハ憂ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ此金融制度調査委員會ノ委員ヲバ地方ノ銀行ニ關係ノアル者ヲモ加ヘラレルト云フ所ノ御意思アリヤ否ヤ、是ハ既ニ定員ニ達シテ居リマスガ、今日ハ少シ定員ヲ増加ヲサレテ、サウシテ大銀行家或ハ學者ノミヲ以テ網羅スルコトナクシテ、實際地方ノ銀行ニ關係ヲ持つテ、地方ノ利害ニ能ク精通ヲ致シテ居ル所ノ者ヲバ委員トシテ増加サレル所ノ御意思アリヤ否ヤヲ御尋申上ゲタイト思フノデアリマス

○片岡國務大臣 御尋ノ要旨ハ御尤ト思ヒマスガ、大體地方ヲ見ズシテ都會ニノミ重キヲ置イテ居ルト云フコトハアリマセヌ、又此委員會案ヲ拵ヘマシテ、結局實行シナケレバナラヌモノハ、各地方カラ選出サレテ居ル衆議院ニ提出シテ、先ヅ以テ其意見ヲ聽クノデアリマス、ソレニ依テ定マルノデアリマス、案ヲ作ル迄ニ必ズ地方ノ人ノ意見ヲ聽カナケレバ一方ニ偏シタモノニナルトハ思ヒマセヌ、政府當局者ハ一般ノ上ニ於テ相當ノ責任ヲ持ッテ居リマスカラ、ソレ等ノ點ニ付テハ常ニ考慮シテ居リマス、併ナガラ地方ノ人ト申シマシテモ、人ニ依テハ都會ノコトニモ通ジ、地方ノコトニモ通ジテ居ル人ガ無イトモ限リマセヌ、今御話ノコトハ篤ト念頭ニ存シテ置クコトニ致シマス

○前田委員 私ハ地方銀行ニ關係アル者ガ委員デナイカラ、地方金融ガ輕視サレルト云フコトヲ斷定致シタ譯デハナイノデアリマス、矢張人間ト云フモノハ、如何ニ公正ナ人デモ事業ニ關係ガ有リマスレバ、自己ノ利害ト云フコトヲ常ニ念頭ニ置イテ居ル、是ハ人間ノ弱點ダラウト思フ、又實際ニ於テ地方デ多年金融事業ニ從事シテ居ル者ハ都會ニ居ッテ大銀行ノミヲヤッテ居ル者ヨリモ、地方ノ金融ニ精通致シテ居ルコトハ勿論アル、左様ナ點ヨリ判斷致シマシテ、是ハ急ニ行ハレ、巴國家ノ爲メ洵ニ結構デアリマスガ、政府トシテ調査委員會ノ如キモノヲ設ケテ居ル以上ハ、矢張此委員會ノ決議ヲ尊重サレテ原案ヲ作ラレルモノダラウト思ヒマスカラ、矢張地方銀行ニ關係

ノ有ル者モ其中ニ入レラレテ、サウシテ十分討議ヲ盡サセテ、政府ノ原案ヲ御拵ヘニナル材料ニ供セラレルコトガ必要デアラウト思フノデアリマス、併シ是モ大藏大臣ガ趣旨ニ於テハ肯定サレテ居ルヤウデアリマスカラ、此點ニ付テハ是レ以上質問スル必要ヲ認メナイノデアリマス、唯吾々ノ希望ガ一日モ早ク達成サレ、バ洵ニ仕合ト思フノデアリマス、モウ一ツ御尋申上ゲダイノハ、是ハ既ニ他カラ質問サレタカノ如ク思フテ居リマスガ、検査ニ關スル問題デアリマス、不良銀行ニ對シテハ、臨時ノ検査ヲ迅速ニシナケレバナラヌト云フコトハ、固ヨリ必要デアリマス、併シ銀行ノ検査ノ如キモノヲ、定期ニ行ハズシテ必要ニ應ジ時々ヤリマスト、預金者ハ非常ニ神經過敏デアリマスカラ、直ニ取付ニ遭フトカ、或ハ幾多ノ弊害ガ助長サレルモノデアリマス、ソレデ吾々ト致シテハ、成ベク臨時ノ検査ハ避ケネバナラヌ、併シ不良デアリ必要ノアルモノハ、迅速ニヤル必要ガアルコトハ勿論デアリマスガ、成ベク避ケナケレバナラヌト思フ、ソレト同時ニ定期ノ検査ヲ必ズ履行スル、サウシテ一年一回必ズヤッテ貴ヒタイト思フノデアリマス、確カスウ云フ質問ガアツテ政府ハ豫算ノ關係上ムヅカシイト云フ御答辯ガアツタヤウニ承ツテ居リマスガ、現ニ生命保険ノ如キモノモ一年ニ一回ヤッテ居ルノデハナイカト

思ヒマス、是ハ前ニ臨時的ニヤッテ、始終物議ヲ醸シタ爲ニ、定期ニヤルコトニナツタヤウニ承知シテ居リマスガ、全國ノ銀行ヲ一年ニ一回ヤルト致シマシテモ、左程經費ハ増加致シマスマイト思ヒマス、増加ヲシテモ極ク僅カナ金デアラウト思フ、デアリマスカラ銀行法ノ改正ト共ニ、一年一回定期検査ヲヤルコトヲ希望致シテ居リマスガ、若シ豫算ガ無クテ本年カラ直ニヤレナイト云フナラバ、追加豫算トシテ御提出ニナツテモ、恐ラク衆議院トシテ異議ハアルマイト思フノデアリマス、此點ニ付テモウ一度大藏大臣ノ御眞意ヲ伺フテ見タイノデアリマス、直ニ本年度ヨリ履行サレル意思アリヤ否ヤ、追加豫算トシテ御提出ナサル意思アリヤ否ヤ、此點ニ付テ再ビ大藏大臣ノ御答辯ヲ希望スル次第デアリマス

○片岡國務大臣 銀行検査ヲ潛行的ニ行フコトハ、非常ニ人心ヲ刺戟シテ宜イモノデアリマセヌ、併シ何カ不都合ガアレバ致方アリマセヌガ、成ベク定期ニスル方ガ宜イト思ヒマス、定期ニヤッテ其狀況ニ依テ又更ニ検査スルノガ本式ト思フ、併ナガラ今全國ノ本支店、ソレカラ庶民金融機關迄モ検査スルコトニ致シマス、此豫算ニ計上シタモノデサヘモ、先ヅ大體三年ニ一遍デナイト行届カヌト思フ、之ヲ定期ニ一年一回ヤルコトニスルト、小部分ノ費用ヲ計上スレバ宜イデハナイカト云フ御話デ

アリマスガ、是ハ人ト旅費ニ關シマス、サウ小部分トモ行カヌ、ソレカラ又銀行局長ハ今ノ前田君ノヤウナコトガ行ハレマスト非常ニ喜ブデアラウト思ヒマスガ、他ノ機關ニ於テ、アレヲヤラヌナラバ己ノ方モ斯ウシテ呉レト云フヤウナコトガアツテ、中ムヅカシイ問題デス、是ハ實際局ニ當ラナイト分リマセヌガ、實ハ私豫算編成デ大分苦シダ、一ツノ事ヲ決メルノハ譯ハナイガ、今年銀行検査ノ方ニ是ダケノ人員ヲ増シタコトガ餘程検査ニ重キヲ置イタ證據デアリマス、併シ是モ保險ノ方ト權衡ヲ取ツテ、ドウモ銀行ヲ斯ウスレバ、保險ノ方モ斯ウシナケレバナラヌト云フコトデ、保險ノ方モ勅任ヲ主任ニスルト云フ途ヲ開イタノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、今年追加豫算デ銀行ダケノ事ヲ、他ノ方ヲ構ハズヤッテシマウト云フ譯ニハ行キマセヌ、本年ハ是デ大進歩デス、是迄七年ニ一遍シカ検査ガ出來ナカッタノガ、三年ニ一遍ヤレルノデスカラ、先ヅ是デ一旦ヤッテ置キマシテ、ソレカラ段々諸君ノ適切ナル御論等ニ依テ、少クモ隔年ニ一回定期検査ガ行ハレルヤウニシタイト思ヒマス、只今ノ御趣意ニ對シテハ御同感デアリマス、而シテ之ヲ爲スガ爲ニ本年追加豫算ヲ出ス意思ハナイカト云フコトニナリマス、追加豫算ヲ出スト云フ意思ハ持ツテ居リマセヌ

○前田委員 私ハ質問ハ是デ打切ルノ

デアリマスガ、只今此検査ニ付テモ趣旨ハ是認下サツタト云フコトハ、大ニ満足スルノデアリマスガ、申スマデモナク、銀行検査ノ履行ト云フコトハ餘程必要ナコトデアリマシテ、若シ從前カラ此検査ヲ履行シテ居リマスルナラバ、或ハ昨日デアリマシタカ、震災手形ノ問題ニ付テ議會紛擾ノ起ルト云フコトモ大ニ避ケ得ラレタカトモ思フノデアリマスガ、兎ニ角他ノ事柄ト違ヒマシテ、此銀行内ガ不整頓デアリ、缺陷ガ生ジテ居ルト云フコトハ、金融界全體ノ一大脅威デアリ、一大影響ヲ及ボスコトデアリマシテ、洵ニ由々敷事柄デアラウト思ヒマスカラ、願ハクバ大藏大臣ハ能ク他省トノ折合ヲ付ケラレテ、私ハ出來得ベクンバ追加豫算ヲ提出サレンコトヲ希望スルノデアリマス、吾々又衆議院ト致シマシテモ、大ニ輿論ヲ起シマシテ、若シ御提案ニナルナラバ、喜ンデ協賛スベク努力ヲシテ見タイト思フノデアリマスガ、是ハ實ニ私ハ一日モ早クヤル必要ガアラウト思フノデアリマス、併シドウ致シテモ大藏大臣ノ立場上、本年ハ出セヌト云フ御話デアリマスルナラバ、三年ニ一度位検査ヲヤリマシテモ、私ハ何ニモナラヌト思フ、是ハ昔ト違ヒマシテ、大戰以來我が金融ノ狀態ハ非常ニ大キクナリ、變テモ來テ居ルノデアリマスカラ、三年ニ一度位検査サレテモ、其間ニ幾多ノ新シイ缺陷ガ生ズラウト思フ

ノデアリマス、デアリマスカラ、ドウ致シテモ矢張一年ニ一回位ハ定期検査ヲヤルト云フ必要ヲ吾ハ飽マデモ認メル者デアリマスカラ、本年ドウシテモ大藏大臣トシテ追加豫算ガ出セナイト云フ御肚デアリマスカラ、ドウカ明年度ハ必ズ之ヲヤツテ戴クト云フコトヲ希望致シマシテ、其外種々御尋申上ゲタイコトモアルノデアリマスガ、本日ハ私トシテハ是デ質問ヲ打切りマシテ了致シマシタ、然ルニ神崎君及原君ヨリ討議ニ直接且ツ必要ナル御質問ガアルト云フコトデアリマスカラ、特ニ其條件ヲ以テ兩君ニ御質問ヲ御許致シタイ思ヒマスガ、如何デスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○原委員 前田君ノ質問ト同時ニ私ハ實ハ質問ヲ留保シテアッタノデスカ、ソレハ委員長能ク御承知デアラウト思フ、ドツチデモ許サレ、バ宜イクレドモ、サウ云フコトニナツテ居ッタノデスカ

○小野委員長 併シ討議ニ直接關係ノコトデナクデスカ

○原委員 關係ガアリマス

○小野委員長 一寸順序ガアリマス、神崎君

○神崎委員 私ハ極ク簡單デアリマス、或ハ他ノ委員ヨリ御質問ガアツカモ存ジマセヌガ、或ル方面ヨリモ段々聽合セガアリマスノデ、重ネテ御尋シテ見タイト思フノハ、今回ノ銀行法ニ

依リマスレバ、株式會社デナケレバイケナイト云フコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、從來ノ合資デアルトカ、合名若クハ個人ノヤツテ居ル銀行ハ、ドウ云フヤウニ引直ス積リデアアルカ、是非常ナ面倒ナコトデアリマシテ、登録稅ナドニモ關係ノ有ルモノデアアル、何

カ之ニ付テ政府ノ御便宜ノヤウナ御考デモアルカ、唯第三條ニ斯ウ云フヤウナ規定ガシテアレバ、從來ノ銀行ハ全ク解散シテ新ニ立テルノ外ハナイノデアアル、サウ云フコトハ大變面倒デアアル、一ツ其趣旨ノアル所ヲ聽イテ貴ヒタナガラ御答ヲ願ヒタイ

○松本政府委員 今度ノ新法ニ依リマスレバ、銀行ガ株式會社ニナラネバナラヌコトニ相成ツテ居リマス、其猶餘期間ト致シマシテ七年ト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、ソレデ其手續ニ付キマシテハ、矢張法律ノ正規ノ手續ヲ經ネバナラヌノデアリマス、別ニ法律以外ニ便法ト云フモノハアリマセヌノデアリマス、大體七年位ノ猶餘期間ガアリマスレバ、株式會社ニ變更スルコトハ、サウ困難デナイト考ヘテ居

リマス、現在株式會社タラザルモノハ極ク少數ノ銀行デゴザイマシテ、個人銀行、或ハ合名會社ノ銀行、或ハ舊商法ノ合資會社ノ銀行、ソレハ商法施行前ノモノデアリマス、サウ云フモノハ極ク少數デゴザイマシテ、ソレ等ハ株式

會社ニ變更スルコトハ左マデ困難デナイト存ジテ居リマス、七年ノ猶餘期間ガアリマスレバ、十分ニ準備ハ出來ルモノト考ヘテ居リマス

○神崎委員 重ネテ御尋致シマスガ、登録稅ノ如キハドンナコトニナリマスカ

○黒田政府委員 合資會社、合名會社等ガ組織ヲ變更致シマシテ、株式會社ニナルト云フコトニナリマス、是ハ勿論登録稅ガ掛カルノデアリマス、唯今回ノ登録稅法ノ改正ニ於キマシテハ、合併又ハ其組織ノ變更ト云フコトハ成ベク便宜ヲ圖ルト云フ意味ヲ以チマシテ、從前ノ資本金額ヲ越エナイ部分ニ付キマシテハ、千分ノ二ヲ千分ノ

一ニ輕減ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、併シ今回ノ銀行法ニ依リマシテ變更リマス場合ニ於テ、新設致シマスレバ、ソレニ依テ新設ノ登録稅ガ掛カルト云フコトハ免レナイト考ヘテ居リマス

○神崎委員 合併ニ付キマシテハ今回ノ登録稅ニ依リマシテ何程カノ恩典ニ與カルノデアリマス、從來ノ銀行ト云フヤウナモノヲ今度株式會社ニ引直スト云フコトニナリマスレバ、何等關係ナイノデアリマセウカ、合併ト云フコトニ付テノ恩惠ニ浴スルカドウカト云フコトヲ御尋シタイ

○黒田政府委員 組織變更ニ相成リマスレバ、是ハ今回ノ改正ニ依リマシテ千分ノ二ヲ半減致シテ居リマス

○神崎委員 尙ホ御尋致シマス、サウスルト尙ホ實例ヲ舉ゲテ申シマスレバ、從來ノ個人銀行若クハ合資銀行ト云フモノヲ株式會社ニ變更スルト云フコトニナレバ、詰リ登録稅法ノ示シタ恩惠ニ浴スル、斯ウ云フコトニナルノデスカ

○黒田政府委員 只今例ニ御舉ゲニナリマシタヤウナ場合ニ於キマシテハ、組織變更デハアリマセヌ

○神崎委員 サウスレバ組織變更ト云フヤウナコトヲ今御述ニナツタノデアリマスガ、私ノ質問ニ餘リ關係ノナイコト、思フノデアリマス、私ハ銀行ト銀行ノ合併ニ付テノ御尋デハナイノデアリマス、詰リ斯ウ云フヤウナコトニナリマスレバ、從來ノ合資會社、合名會社若クハ個人銀行ト云フモノガ株式會社ニナラナケレバナラナイ、斯ウ云フコトデアリマシタナラバ、種々ナル面倒ヲ見ルノミナラズ、登録稅法ニ依テ登録稅ノ負擔ヲスルト云フコトハ非常ナ困難デアアル、非常ナ困難デアアルト云フコトニナツタナラバ、ドウデアアルカ、合併ト云フヤウナコトニ付テモ始終政府ハ心配サレマシテ、幾多ノ特典ヲヤツテ居ルノニ今回ハ更ニ特典ヲ御與ヘニナツテ居ラヌト云フノハドウ云フヤウナコトデアアルカ、斯ウ云フ御尋デアリマス

○黒田政府委員 是ハ或ハ銀行局長ノ

方カラ御答辯申上ゲタ方ガ適當デア
ノカモ知レマセヌガ、一應私カラ御答
申上ゲマスガ、先程申シマシタノハ、組
織變更ニナリマスル場合ニ於キマシテ
ハ、變更當時ノ拂込資本金額ヲ越エナ
イ部分ニ付キマシテハ半減ヲ致シテ、
成ベク組織ノ變更ヲ簡易ニスルト云フ
趣旨ヲ以テ改正ヲ致シタノデアリマス、
今回ノ銀行法ニ依リマス、種々ノ場
合ガアラウト思ヒマスガ、組織變更ノ
場合ニ於テハ、勿論登録税ニ於テハ今
同ハ其點ニ考慮ヲ致シテ居ラヌノデア
リマス、是ハ只今銀行局長モ述ベラレ
タ通り、其組織ノ變更ニ付テハ七年ノ
猶豫ガアルヤウニ承知シテ居リマス、
大體ニ於テ現在ノ合資會社、合名會社ガ
自然株式會社ニ變ルト云フノハ今日ノ
經濟界ノ趨勢ニナツテ居ルヤウニ思フ
ノデアリマス、殊ニ銀行ノ場合ニ於テ
ハ相當ノ猶豫期間モ與ヘテ居ルコトデ
モアリマスシ、之ニ對シテ登録税ヲ輕
減スル必要モナカラウト云フ考ヲ以テ、
今回ハ其點ニ考慮致サナカッタノデア
リマス

トハ、一部ノ人ニハ大變迷惑ナコトデ
アルカラ、何か之ニ付テ特殊ノ恩典デ
モ御考下サル譯ニハ行カナイモノデセ
ウカ

サウスルト其出張所又ハ代理店ヲ出シ
タ者ノ側カラ見ルト、營業ノ自由ヲ許サ
レタ範圍内ニ於テ行動致シテ居ルモノ
デアツテ、ソコニ費用ヲ投ジテ營業所又
ハ代理店ヲ設ケテ居ル者ハ、一種ノ既
得權ヲ持ツテ居ルモノト言ハナケレバ
ナラヌ、然ル所取締上是ガ甚ダ不便デア
ルカラ、此新法ニ於テハ之ヲ取締ラウ
ト云フ、此精神ハ洵ニ結構デアアル、此精
神カラ推シテ行ケバ、今後新ニ出張所
又ハ代理店ヲ設ケル場合ニ於テハ、大藏
大臣ノ認可ヲ受ケサセナケレバナラヌ
ト云フコトハ當然ナ事デアルト思フノ
デスガ、然ルニモ拘ラズ改正法案デハ此
法ヲ施行ノ場合ニ於テ、一年内ニ現在
アルモノハ全部大藏大臣ノ認可ヲ受ケ
ナケレバナラヌト云フコトニナツテ居
テ、是マデ資本ヲ投ジテ居ル者ニ對ス
ル補償ノ途モ何モナイ、斯ウ云フ獨斷
專行ナコトニナツテ居ル、斯様ナ立法例
ハ是マデ他ノ法令ニモアルト云フコト
ハ承ツテ居ルケレドモ、是ハ人權ヲ無視
シタ遣方デ、餘リ良イ方法トハ思ハナ
イ、ソコデ私共ハ是マデ許シテアル所
ノ出張所代理店ノ如キモノハ之ハ制限
スルコトナクシテ、其儘存續セシムル、
斯ウ云フ方途ニ出デナケレバナラヌモ
ト思フノデアリマス、當局者ノ此點
ニ對スル所見ヲ承リタイ

務大臣ノ認可ヲ受ケシムルト云フコト
ハ酷デナイカト云フ御質問ニ承リマシ
タ、是ハ斯ウ云フ事情ガアルノデアリ
マス、現在出張所ト稱シテ支店ノ實ヲ
舉ゲテ居ルト云フモノモ少クナイヤウ
ニ私ハ觀察致シテ居リマス、認可ヲ受
ケズニ出張所ヲ設ケテ居リマスモノモ
可ナリ多イヤウニ思フノデアリマス、
左様ナ事情モアリマシテ、是ハ金融制
度調査會ニ於キマシテモ問題ニナツテ
居ッタノデアリマスガ、原サンノ言ハレ
ル通り、既ニ其處ニ設備モシテ居ルノ
デアリマスカラ、成ベク是ハ寬大ニ取
扱ツテ行キタイ、サウシテ非常識ノコト
ヲ爲サナイヤウニ致シタイト云フ考ハ
十分持ツテ居リマス

○神崎委員 今ノ御話デハ七年間猶豫
ガアルカラト云フコトデアアルガ、七年
ガ十年十五年經ツテモ、登録税ハ納メナ
ケレバナラヌノデアアルカラ、サウ云フ
理由ハ立タナイ、私等ノ考デハ其當
時ウツカリ御忘ニナッタノデハナイカト
思フ、若シサウダトスルト大變迷惑デ
アル、之ヲ此儘漫然通過スルト云フコ

トハ、一部ノ人ニハ大變迷惑ナコトデ
アルカラ、何か之ニ付テ特殊ノ恩典デ
モ御考下サル譯ニハ行カナイモノデセ
ウカ

サウスルト其出張所又ハ代理店ヲ出シ
タ者ノ側カラ見ルト、營業ノ自由ヲ許サ
レタ範圍内ニ於テ行動致シテ居ルモノ
デアツテ、ソコニ費用ヲ投ジテ營業所又
ハ代理店ヲ設ケテ居ル者ハ、一種ノ既
得權ヲ持ツテ居ルモノト言ハナケレバ
ナラヌ、然ル所取締上是ガ甚ダ不便デア
ルカラ、此新法ニ於テハ之ヲ取締ラウ
ト云フ、此精神ハ洵ニ結構デアアル、此精
神カラ推シテ行ケバ、今後新ニ出張所
又ハ代理店ヲ設ケル場合ニ於テハ、大藏
大臣ノ認可ヲ受ケサセナケレバナラヌ
ト云フコトハ當然ナ事デアルト思フノ
デスガ、然ルニモ拘ラズ改正法案デハ此
法ヲ施行ノ場合ニ於テ、一年内ニ現在
アルモノハ全部大藏大臣ノ認可ヲ受ケ
ナケレバナラヌト云フコトニナツテ居
テ、是マデ資本ヲ投ジテ居ル者ニ對ス
ル補償ノ途モ何モナイ、斯ウ云フ獨斷
專行ナコトニナツテ居ル、斯様ナ立法例
ハ是マデ他ノ法令ニモアルト云フコト
ハ承ツテ居ルケレドモ、是ハ人權ヲ無視
シタ遣方デ、餘リ良イ方法トハ思ハナ
イ、ソコデ私共ハ是マデ許シテアル所
ノ出張所代理店ノ如キモノハ之ハ制限
スルコトナクシテ、其儘存續セシムル、
斯ウ云フ方途ニ出デナケレバナラヌモ
ト思フノデアリマス、當局者ノ此點
ニ對スル所見ヲ承リタイ

務大臣ノ認可ヲ受ケシムルト云フコト
ハ酷デナイカト云フ御質問ニ承リマシ
タ、是ハ斯ウ云フ事情ガアルノデアリ
マス、現在出張所ト稱シテ支店ノ實ヲ
舉ゲテ居ルト云フモノモ少クナイヤウ
ニ私ハ觀察致シテ居リマス、認可ヲ受
ケズニ出張所ヲ設ケテ居リマスモノモ
可ナリ多イヤウニ思フノデアリマス、
左様ナ事情モアリマシテ、是ハ金融制
度調査會ニ於キマシテモ問題ニナツテ
居ッタノデアリマスガ、原サンノ言ハレ
ル通り、既ニ其處ニ設備モシテ居ルノ
デアリマスカラ、成ベク是ハ寬大ニ取
扱ツテ行キタイ、サウシテ非常識ノコト
ヲ爲サナイヤウニ致シタイト云フ考ハ
十分持ツテ居リマス

○松本政府委員 個人銀行ガ株式會社
ニナル場合、或ハ合名會社、合資會社ガ
法律ニ依テ株式ニ組織ヲ變更セネバナ
ラヌ場合ニ於テハ、無論手續其他ニ付
テハ十分寬大ナ處置ヲ執リタイト思ッ
テ居リマスガ、特ニ恩典トカ、特典トカ、
何か他ニ法律的ノ便法ヲ付スルト云フ
コトハ、法制上非常ニムズカシイ問題
デ不可能ト存ジマス

○神崎委員 少シ質問シタイノデス
ガ、是レ以上ハ議論ノ相違ニナリマス
カラ打切りマス

○原委員 先ハ先ヅ簡單ナ所カラ片
付ケヤウト思フ、第四十三條附則ノ規
定デスガ、此條文ハ第一項ト第二項
トニ分レテ居ツテ、隨分規定ノ仕方ガ、
立法技術トシテハ不手際ナ仕方と思フ
ガ、ソレ等ハ形式論デ、實質論ノ方カラ
言ツテ疑ノ存スルノハ、今日ノ銀行條例
デハ銀行ノ出張所又ハ代理店ト云フモ
ノハ、是ハ何等ノ制限ヲ受ケナイデ大
藏省ハ之ヲ看過シテ居ルハ何處ヘ出張
所ヲ置カウガ代理店ヲ置カウガ、ソレ
ハ全ク銀行側ノ自由ニ屬シテ居ツテ、法
規制限シナイ、之ヲ設ケタモノハ何
レモ多大ノ費用ヲ投ジテ、其營業所ヲ
建築スルトカ、或ハ借受ケルトカ、或ハ
其地方ノ得意先ナドヲ網羅シテ居ル、

○松本政府委員 現在支店以外ノ營業
所、出張所又ハ代理店トシテ設ケラレ
テアリマスモノヲモ、尙ホ一年内ニ主

○松本政府委員 個人銀行ガ株式會社
ニナル場合、或ハ合名會社、合資會社ガ
法律ニ依テ株式ニ組織ヲ變更セネバナ
ラヌ場合ニ於テハ、無論手續其他ニ付
テハ十分寬大ナ處置ヲ執リタイト思ッ
テ居リマスガ、特ニ恩典トカ、特典トカ、
何か他ニ法律的ノ便法ヲ付スルト云フ
コトハ、法制上非常ニムズカシイ問題
デ不可能ト存ジマス

○神崎委員 少シ質問シタイノデス
ガ、是レ以上ハ議論ノ相違ニナリマス
カラ打切りマス

○原委員 先ハ先ヅ簡單ナ所カラ片
付ケヤウト思フ、第四十三條附則ノ規
定デスガ、此條文ハ第一項ト第二項
トニ分レテ居ツテ、隨分規定ノ仕方ガ、
立法技術トシテハ不手際ナ仕方と思フ
ガ、ソレ等ハ形式論デ、實質論ノ方カラ
言ツテ疑ノ存スルノハ、今日ノ銀行條例
デハ銀行ノ出張所又ハ代理店ト云フモ
ノハ、是ハ何等ノ制限ヲ受ケナイデ大
藏省ハ之ヲ看過シテ居ルハ何處ヘ出張
所ヲ置カウガ代理店ヲ置カウガ、ソレ
ハ全ク銀行側ノ自由ニ屬シテ居ツテ、法
規制限シナイ、之ヲ設ケタモノハ何
レモ多大ノ費用ヲ投ジテ、其營業所ヲ
建築スルトカ、或ハ借受ケルトカ、或ハ
其地方ノ得意先ナドヲ網羅シテ居ル、

○松本政府委員 現在支店以外ノ營業
所、出張所又ハ代理店トシテ設ケラレ
テアリマスモノヲモ、尙ホ一年内ニ主

○松本政府委員 個人銀行ガ株式會社
ニナル場合、或ハ合名會社、合資會社ガ
法律ニ依テ株式ニ組織ヲ變更セネバナ
ラヌ場合ニ於テハ、無論手續其他ニ付
テハ十分寬大ナ處置ヲ執リタイト思ッ
テ居リマスガ、特ニ恩典トカ、特典トカ、
何か他ニ法律的ノ便法ヲ付スルト云フ
コトハ、法制上非常ニムズカシイ問題
デ不可能ト存ジマス

○神崎委員 少シ質問シタイノデス
ガ、是レ以上ハ議論ノ相違ニナリマス
カラ打切りマス

○原委員 先ハ先ヅ簡單ナ所カラ片
付ケヤウト思フ、第四十三條附則ノ規
定デスガ、此條文ハ第一項ト第二項
トニ分レテ居ツテ、隨分規定ノ仕方ガ、
立法技術トシテハ不手際ナ仕方と思フ
ガ、ソレ等ハ形式論デ、實質論ノ方カラ
言ツテ疑ノ存スルノハ、今日ノ銀行條例
デハ銀行ノ出張所又ハ代理店ト云フモ
ノハ、是ハ何等ノ制限ヲ受ケナイデ大
藏省ハ之ヲ看過シテ居ルハ何處ヘ出張
所ヲ置カウガ代理店ヲ置カウガ、ソレ
ハ全ク銀行側ノ自由ニ屬シテ居ツテ、法
規制限シナイ、之ヲ設ケタモノハ何
レモ多大ノ費用ヲ投ジテ、其營業所ヲ
建築スルトカ、或ハ借受ケルトカ、或ハ
其地方ノ得意先ナドヲ網羅シテ居ル、

○松本政府委員 現在支店以外ノ營業
所、出張所又ハ代理店トシテ設ケラレ
テアリマスモノヲモ、尙ホ一年内ニ主

○松本政府委員 個人銀行ガ株式會社
ニナル場合、或ハ合名會社、合資會社ガ
法律ニ依テ株式ニ組織ヲ變更セネバナ
ラヌ場合ニ於テハ、無論手續其他ニ付
テハ十分寬大ナ處置ヲ執リタイト思ッ
テ居リマスガ、特ニ恩典トカ、特典トカ、
何か他ニ法律的ノ便法ヲ付スルト云フ
コトハ、法制上非常ニムズカシイ問題
デ不可能ト存ジマス

○神崎委員 少シ質問シタイノデス
ガ、是レ以上ハ議論ノ相違ニナリマス
カラ打切りマス

○原委員 先ハ先ヅ簡單ナ所カラ片
付ケヤウト思フ、第四十三條附則ノ規
定デスガ、此條文ハ第一項ト第二項
トニ分レテ居ツテ、隨分規定ノ仕方ガ、
立法技術トシテハ不手際ナ仕方と思フ
ガ、ソレ等ハ形式論デ、實質論ノ方カラ
言ツテ疑ノ存スルノハ、今日ノ銀行條例
デハ銀行ノ出張所又ハ代理店ト云フモ
ノハ、是ハ何等ノ制限ヲ受ケナイデ大
藏省ハ之ヲ看過シテ居ルハ何處ヘ出張
所ヲ置カウガ代理店ヲ置カウガ、ソレ
ハ全ク銀行側ノ自由ニ屬シテ居ツテ、法
規制限シナイ、之ヲ設ケタモノハ何
レモ多大ノ費用ヲ投ジテ、其營業所ヲ
建築スルトカ、或ハ借受ケルトカ、或ハ
其地方ノ得意先ナドヲ網羅シテ居ル、

○松本政府委員 現在支店以外ノ營業
所、出張所又ハ代理店トシテ設ケラレ
テアリマスモノヲモ、尙ホ一年内ニ主

○松本政府委員 個人銀行ガ株式會社
ニナル場合、或ハ合名會社、合資會社ガ
法律ニ依テ株式ニ組織ヲ變更セネバナ
ラヌ場合ニ於テハ、無論手續其他ニ付
テハ十分寬大ナ處置ヲ執リタイト思ッ
テ居リマスガ、特ニ恩典トカ、特典トカ、
何か他ニ法律的ノ便法ヲ付スルト云フ
コトハ、法制上非常ニムズカシイ問題
デ不可能ト存ジマス

○神崎委員 少シ質問シタイノデス
ガ、是レ以上ハ議論ノ相違ニナリマス
カラ打切りマス

○原委員 先ハ先ヅ簡單ナ所カラ片
付ケヤウト思フ、第四十三條附則ノ規
定デスガ、此條文ハ第一項ト第二項
トニ分レテ居ツテ、隨分規定ノ仕方ガ、
立法技術トシテハ不手際ナ仕方と思フ
ガ、ソレ等ハ形式論デ、實質論ノ方カラ
言ツテ疑ノ存スルノハ、今日ノ銀行條例
デハ銀行ノ出張所又ハ代理店ト云フモ
ノハ、是ハ何等ノ制限ヲ受ケナイデ大
藏省ハ之ヲ看過シテ居ルハ何處ヘ出張
所ヲ置カウガ代理店ヲ置カウガ、ソレ
ハ全ク銀行側ノ自由ニ屬シテ居ツテ、法
規制限シナイ、之ヲ設ケタモノハ何
レモ多大ノ費用ヲ投ジテ、其營業所ヲ
建築スルトカ、或ハ借受ケルトカ、或ハ
其地方ノ得意先ナドヲ網羅シテ居ル、

○松本政府委員 現在支店以外ノ營業
所、出張所又ハ代理店トシテ設ケラレ
テアリマスモノヲモ、尙ホ一年内ニ主

リマスカ、ソレヲ一ツ伺ツテ置キタイノデアリマス

○八並政府委員 此法律以外ニ依テ罰セラレルト云フヤウナ場合ニ於テハ、之ニ依テハヤラナイト云フコトヲ特ニ明ニ致シタノデアリマス

○原委員 此法律以外ニ於テ罰セラレルヤウナ場合ニ於テハ、第三十五條ノ適用ヲ受ケナイ、斯ウ云フ御答辯デアリマスケレドモ、此法律以外ノ罰則ニ觸レタ場合ニハ、固ヨリ此法律ノ中デモ三十五條ノ規定以外ノモノモ矢張這入ルノデハナイノデアリマスカ

○八並政府委員 是ハ要スルニ刑法トカ、其他ニ刑罰法令ガアリマスカラバ、此以外ニ在ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○原委員 此條文外デアリマスカ

○八並委員 サウデアリマス

○原委員 サウスルト第三十五條ノ第三號ニ「又ハ之ニ不實ノ記載ヲ爲シタルトキ」トアリ、第四號ニ「不實ノ届出若ハ公告ヲ爲シタルトキ」トアリ、第五號ニ「二十三條ト二十九條ノ規定ニ依リ主務大臣又ハ裁判所ノ爲シタル命令ニ違反シタルトキ」第六號ニ「本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ」トアリマスカ、是等ノ點ニ付テ十分明瞭ニ分ラナイノデアリマスカラ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○八並政府委員 餘リ細カイ點デアリマスカラ、説明委員カラ説明ヲ致サセ

マスカラ左様御諒承ヲ願ヒマス

○赤羽司法書記官 私カラ御答辯申上ゲマス、只今御尋ノ三十五條ノ第三號ニ於キマシテ「之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不實ノ記載ヲ爲シタルトキ」ト云フノハ、要スルニ刑法ニ於テ取締リ兼ネル場合ヲ規定シタルデアリマシテ、刑法ニ於テ處罰スルコトガ出來ナイカラシテ特ニ此處ニ規定シタルデアリマス、本來是ハ學問上文書偽造ト云フヤウナコトハ起リマセウケレドモ、刑法上デハサウ云フ場合ヲ處分スル規定ガゴザイマセマスカラ、特ニ此處ニ揭ゲタノデゴザイマス、ソレカラ第四號ニ於ケル「不實ノ届出若ハ公告ヲ爲シタルトキ」ト云フコトニ付キマシテモ、刑法上之ニ付テ特別ノ規定ガゴザイマセマスカラ、此方ノ取締ガ出來マセマスカ、併シソレハ刑ヲ以テ處罰スル程デナイト云フノデス様ニシタルデアリマス、尙ホソレ以外ノ各法例ニ於キマシテ、斯ウ云フ場合刑ヲ課スルト云フ特別規定ガアツタ場合ニ於テハ、其刑罰法規ニ從テ之ヲ取締ル、斯ウ云フ趣旨ニシタルデアリマス、ソレカラ第六號ノ「本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ」ト云フノハ、本法ニ委任サレタ命令ニ基イテ取締ノ命令ガ出ヤウト思ヒマスカ、其命令ニ違反シタル場合ニ於テ、同様三十五條ノ規定ニ依テ制裁ヲスルト云フ風ニ致シマシタ趣旨デゴザイマス

○原委員 今ノ三號ノ不實ノ記載ヲ爲シタルトキト云フノハ、是ハ矢張其前段ノ主務大臣ニ提出スベキ書類モ之ニ這入ツテ居ルト思フノデアリマスカ、ドウデセウカ、銀行備付ケノ書類ダケデナシニ、主務大臣ニ提出スル書類ニ不實ノ記載ヲ爲シタル場合モ這入ルデアラウト思フノデスガ

○赤羽司法書記官 只今ノ御尋ノ御趣旨ノ如ク、主務大臣ニ提出スベキ書類ニ付テモ左様ト思ヒマス

○原委員 主務官廳カラ命令ヲ以テ會社ノ内容ノ報告ヲ求メラレタル場合ニ、虛偽ノ記載ヲ書イテ出セバ、是ハ當然刑法ノ文書偽造罪ニナラヌト云フコトハドウ云フ譯デセウカ

○赤羽司法書記官 只今ノ御尋ニ付テハ、場合ニ依レバ文書偽造罪ガ成立スル場合モアラウト思ヒマス、此作成者自ラガ虛偽ノ文書ヲ造ッタト云フ場合ニハ、文書偽造罪トナリハシナイモノト思フノデアリマス、詰リ自分ノ書面ニ虛ノ事ヲ書イタ、サウシテソレヲ主務大臣ニ提出シタルト云フコトニナリマスカ、文書偽造罪トシテ刑法上是ガ成立スルコトハ出來ナイモノデハナイカト思ヒマス

○原委員 ソレデハ文書偽造罪ニナルト云フノハドウ云フノデスカ

○赤羽司法書記官 只今ノハ、問題ハ要スルニ自身ノ作成スル文書ニ限局サレテ居ルト思ヒマスカ、其場合ニ於テハ特ニサウ云フ場合ヲ罰スル條文ガア

リマセマスカラ、刑法上ハサウ云フコトハ成立シナイダラウト思ヒマス、唯公ノモノガ自己ノ管掌スル文書ニ付テ偽造シタルト云フヤウナ場合ハ特ニ規定シテアリマスカラ、其場合ニ於テハサウ云フ疑義ハ起キナイダラウト思ヒマス

○原委員 サウスルト前ニ戻ツテ、三十五條ノ但書ノ他ノ條文デ罰スベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズト云フ意味ニ付テハ、只今私ガ指摘シタル所ノ點ハ他ニ罰スベキ事柄ガ何カアルデセウカドウデセウカ

○赤羽司法書記官 文書偽造罪ト云フコトダケニ限局スレバ、先程御答致シタ通りト思ヒマスカ、尙ホ其他ニ斯ウ云フ行爲ガ、他ノ刑法上ニ若クハ其他ノ警察法規ニ觸レル場合ガ、絶對ニ無イトハ限ラナイト思ヒマス、サウ云フ場合ニハ其方面ノ刑罰制裁ヲ科スルノデ、サウ云フ時ニハ此刑罰法規ノ方ハ除カレテシマフト考ヘルノデアリマスカ

○原委員 サウスルト一般ノ法例ニ於テ罰スベキ法令ガアル場合ニ於テハ、當然其方デ罰セナケレバナラヌノデスカラ、サウシマスト茲ニ他ノ法律デ罰スベキモノハ此ノ限ニ在ラズト云フコトハ要ラヌコトニナリハシナイカト思ヒマス

○赤羽司法書記官 三十五條ノ規定ハ過料トナツテ居リマシテ、刑罰制裁ニナツテ居リマセマスカラ、ソレデ他ノ場合

ニ於テ刑ヲ科スル場合ニ於テハ、重キ刑ヲ科スルト云フコトニナリマスノデ、此處ニハ過料ト云フコトニシタト云フ譯デアリマス

○原委員 重イ方デ罰スルト云フノハソレハ當然ノコトデ、過料デアラウガ、罰金デアラウガ、體刑デアラウガ、ソレナコトハ罰スベキ法律ガアレバソレデ罰スルト云フコトハ、ソレハ過料トカ何トカニハ關係ナシニ當然ノ事デアラウト思ヒマス

○赤羽司法書記官 是ハサウデゴザイマスケレドモ、過料ト刑罰ト異ルモノデゴザイマスカラ、若シ斯ウ云フ規定ガ無イト、双方ノ廣イ意味ノ罰ヲ科スルト云フコトニナリハセスカト思ヒマシテ、一方ハ刑ヲ科ス、又一方之ニ依テ過料ヲ科スト云フコトハ妥當デナイカラ、重キ方デ罰スレバ宜シト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○原委員 サウ云フ場合ニハ、寧ロ併科スルノガ法律ノ本旨デハナイカト思ヒマスガ、ドウデセウカ

○赤羽司法書記官 ソレハ御承知ノ如ク商法ナドデモ同ジヤウナ形ヲ取ッテ居リマスカラ、ソレト同趣旨ニ依ル方ガ至當デアラウト考ヘテ居リマス

○原委員 サウスルト商法ノ會社ニ關スル罰則ト、本法ノ罰則トヲ對照スルト云フト、商法ニ矢張同一ナ罰則ガ設ケテアルカラ、株式會社ヲ以テ組織スル銀行ニ特ニ此罰則ヲ置イテ、二重三

重ニ似寄ッタモノヲ造ル必要ガ何處ニアルデセウカ

○小野委員長 一寸餘計ナ事ノヤウデスガ、原君ニ御參考マデニ申上ゲタイデスガ、若シ御質問ト政府當局ノ御答辯ガ行違フヤウナコトガアルトイケマセヌシ、又雙方共條文ヲ見テ居ルト云フコトデハ時間ガ掛リマスカラ、少シ懇談的ニヤルコトニシテハ如何デセウカ

○原委員 委員長ガサウ云フヤリ方ガ宜シケレバ、何方デモ宜シイデスガ、唯速記録ニ殘シタイト思ヒマスカラ……○小野委員長 速記録ニハ後デ殘シマスガ、唯アナタノ御同意ヲ得ヤウト思ッタノデスガ、御不賛成ナラソレデ宜シウゴザイマス、續ケテ下サイ

○松本政府委員 原君ノ言ハレマスノハ、第三十五條ノ中ニ、商法ニモ同様ノ規定ノアルモノガアル、何故ニ特ニ茲ニ商法ニ讓ラズシテ設ケタノカト云フ御質問ノヤウデアリマシタガ、商法ト同一ノ規定ニ該當致シマスノハ、恐ラク第三十五條ノ第三號ノ規定デアラウト思ヒマス、是ハ備付若ハ提出書類ノ不備、不正ヲ罰シテ居ルノデアリマスガ、銀行法ニ於キマシテハ、商法ノ要求スル書類以外ニ、マダ他ニ書類ガアルノデアリマス、本法ニ依リマシテ銀行ニ備付若ハ提出スベキ書類ノ中ニハ、例ヘバ監査書ノ如キモノモアルノデアリマスカラ、特ニ規定ヲ要シマス、銀行法ノハ

書類ノ備付提出ニ關スル規定デアリマスガ、商法ノ方ハ單ニ備付ト云フコトノミ書イテアルノデアリマス、ソレハ商法ノ二百六十二條ノ二ノ第九號ヲ御覽下サレバ分ルコトデアリマス、商法ハ單ニ備付デアアル、銀行法ニハ備付及ビ提出ト云フ場合ガアルノデアリマス、備付若クハ提出——ソレカラ罰ノ内容デアリマスガ、銀行法デハ十圓以上千圓以下ノ過料、商法ニハ五圓以上五百圓以下ノ過料、是ハ銀行ガ特ニ其公共機關タル性質ニ鑑ミマシテ、此方ニ關スル犯罪者ヲ重ク罰スルト云フノハ當然ノ事ト存ジマシテ此法ヲ設ケマシタ、ソレカラ罰ヲ受クベキ者デアリマスガ、銀行法ニ於テハ支配人ヲモ罰スルコトデアリマス、商法ニハ支配人ヲ罰スルト云フ規定ニナッテ居リマセヌ、重役デケデアリマス、デアリマスカラ斯ウ云フ風ニ數個ノ點ニ於テ違フノデアリマスカラ、特ニ此處ニ規定ノアルコトハ當然ノ事デアラウト思ヒマス

○原委員 次ニ此三十四條、前條ニ牽聯スル問題デアリマスガ、此三十四條デハ業務報告書又ハ監査書ノ不實ノ記載トカ、虛偽ノ公告トカ、斯ウ云フ手段ニ依テ官廳又ハ公衆ヲ欺罔シタルトキ、不實ノ記載トカ虛偽ノ公告ガ何時モ手段ニナル場合ヲ罰シテアル、ソレカラ二號ニ行クト、検査ノ場合ニ検査ヲ妨ゲタト云フ場合ガ此處ニ規定シテ

アル、ソコデ同ジ不實ノ記載デアツモ、先程御尋致シタ三十五條ノ不實ノ記載ノ場合ニ於テハ千圓以下ノ過料ニ處セラレル、一方デハ一年以下ノ懲役又ハ禁錮、又ハ千圓以下ノ罰金ニ處セラレル、斯ウ云フ此處ニ刑罰ノ高下ガ存シテ居ルノデスガ、サウスルト同ジ不實ノ記載ヲ爲シテモ、官廳又ハ公衆ヲ欺罔スル爲ニヤッタカドウカト云フコトハ、是ハ全ク其人ノ意思ニ依テ判斷シナケレバナラナイ、是ハ當該官吏ガ認定シテ、オ前ハ官廳又ハ公衆ヲ欺罔スル考デアッタト認メラレタ場合ニ於テハ、三十四條ニ於テ罰セラレル、又サウ認定セラレナイ場合、即チ不實ノ記載ヲ爲シタコトガ、單純ニ此三十五條ニ行ク場合ニ於テハ過料デ、刑罰ハ罰金デモ懲役デモナイト、斯ウ云フヤウナ規定ノ仕方ト云フモノハ、是ハ私ハ甚ダ危險千萬ナ規定ノ仕方デアルト思フノデスガ、ソコデ私が先程申上ゲタ箇條ヲ指摘シテ御尋致シタノデアリマスガ、此意思ヲ判斷スルト云フコトニ依テ、斯ノ如キ刑罰ニ非常ナ差異ヲ生ズルト云フコトハ、是ハ取締法トシテハ甚ダ危險デナイカト思フノデスガ、其點ニ付テ御意見ヲ承ッテ置キタイ

○八並政府委員 原君ノ御質問ハ一應御尤ノヤウニモ聽エマスノデアリマスガ、要スルニ此欺罔ト云フコトハドウ云フコトデアアルカ、又欺罔ト云フコトハドウ云フ風ニ認定スルカト云フコト

ニ付テ相當ヤリニクイデハナイカ、斯
ウ云フヤウナ御質問デアラウト私ハ思
フノデアリマス、併ナガラ欺罔ハドウ
云フ状態デアルトカ、或ハ裁判所ガ是
ハ欺罔シテ居ルノカドウカト云フコト
ヲ判定スルト云フコトハ、既ニ長イ間
ノ實歴竝ニ總テノ法律ニ於テ既ニ規定
サレテ居ッテ、是ガ爲ニ危險ヲ生ズルト
カ何トカト云フヤウナコトハ、私ハ決
シテ現在ノ實情カラ言ッテ無イト思フ
ノデアリマス、ソコデ要スルニ三十四
條第二項ニ、何ノ方法ニ依テ官廳又
ハ公衆ヲ欺罔シタルトキト、斯ウ云フ
風ニ書イテアルノト、ソレカラ三十五
條ニ於テ單ニ不實ノ記載ヲ爲ストカ、
不實ノ届出又ハ公告ヲ爲シタルトカ、
ト云フヤウナコトハ、其實情ニ於テ裁判
所ニ於テ、私ハ相當ノ異ッタル判斷ヲ受
ケ得ルコトハ、現在ニ於テ決シテ難イ事
デハナイト考ヘマス、サウ云フ御心配
ナク是ハ認定ヲシ得ルト考ヘテ居ルノ
デアリマス、ソコデ欺罔ト云フコトガ
事實現レルナラバ、ソレハ相當ニ重イ
刑ニ處セラレルコトモ、之ニ付テハ私
ハ御異存ハアルマイカト斯ウ考ヘルノ
デアリマス、一方ノ方ハ欺罔デナイ、一
方ノ方ハ欺罔デアルト云フコトニナル
ナラバ、ソレニ對シテ相當ノ刑ヲ科ス
ルモノデアアル、是モ亦御諒承ヲ願ヒタ
イト斯ウ思ヒマス

○原委員 此三十五條ニ不實ノ記載ヲ
爲スト云フコトハ、是ハ餘程廣イ意味

ノ書方デアッテ其不實ノ記載ヲ爲シタ
事柄ガ、既ニ不實ノ記載ヲ爲スト云フ、
「不實」ト云フニ文字デ僞リト云フコト
ガ當然解釋セラレル場合ト、又是ハ其
欺罔スル考デハナク、不實ナ記載デアッ
タト云フヤウナ、ソコハ紙一重デアッ
テ、全ク此書イタ人間ノ意思ヲ探究シ
ナケレバ判ラナイノデ、裁判所ニ於テモ
サウ其單純ニ是ハ片付ケル問題デハナ
イ、人ノ意思ヲ探究スルノデアアルカラ、
證據ニ依テソレノ認定スル場合ニ中
容易デヤナイ、少クトモ銀行ハ不實
ノ記載ヲ成シタト云フコトデ、是ガ官廳
ヲ欺罔シタト云フコトノ告訴告發若ハ
檢事ノ取調ダケニ依テ、モウ既ニ銀行
ハ殆ド致命傷ヲ受ケル大問題デアリマ
ス、サウシテソレガ罰セラレルト、一年
以下ノ懲役ニ處セラレ、カモ分ラナ
イ、一方ハ唯千圓ノ過料デアアル、斯ウ云
フ立法ノ仕方ト云フモノハ、ソレハ甚
ダ危險ノ規定ノ仕方デアルト思フノデ
アリマスガ、是ハ結局意見ノ相違ダラ
ウト思フガ、併シ商法デハ現ニ此検査
ヲ妨ゲタ場合ニ於テハ罰則ヲ設ケテア
ル、二百六十二條ノ二ノ四「本編ノ規定
ニ依ル検査又ハ調査ヲ妨ケタルトキ」
二百六十二條ノ二ノ三ニモアル「本編
ノ規定ニ依リ閲覧ヲ許スヘキ書類ヲ正
當ノ理由ナクシテ閲覧セシメサリシト
キ」斯ウ云フ其商法ノ規定ガアルカラ、
此商法ノ規定ヲ見テモ此罰則ハ僅ニ五
圓以上五百圓以下ノ過料ニ過ギナイ、

サウスルト他ノ法律ト權衡ガ取レナ
イ、先程申上ゲタヤウナ紙一重デ、ドン
ナニデモ認定ガ出來ルヤウナ事柄ヲ、
一足飛ニ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下
ノ罰金ニ處スルト云フ、此飛離レタ立
法ヲ爲スニ至リタル理由如何、之ヲ伺
ヒマス

○八並政府委員 只今御質問ニナリマ
シタ検査役ノ調査ノコトガ、商法ニ規
定シテアリマス、此方面ノ罰則ハ三十
四條ノ罰則ヨリ輕イノデアリマス、併
シ三十四條ニ規定シタモノハ検査ヲ妨
グタトカ云フヤウナ行爲デ、抽象的ニ
申セバ甚ダ重イヤウナ感ジガアリマセ
ウガ、同ジ妨ゲルニシテモ、程度ガアリ
マシテ、惡意ヲ以テ或ハ策略ヲ以テ妨
ゲルモノモアリマス、或ハ單ニ其場ヲ
外ヅシテ消極的ニ検査ヲ妨ゲル場合モ
アリマス、ソコデ三十四條ヲ御覽ニナ
ルト、一年以下ノ自由刑又ハ千圓以下
ノ罰金ト云フコトニナッテ居リマシテ、
非常ニ範圍ガ廣イノデアリマスカラ、
事ノ輕重ニ應ジテ相當ニ裁量スルコト
ガ出來ルノデアリマス、ソコデ監督官
廳カラ帳簿ヲ検査スル場合ニ、三十四
條ニ規定シタヤウナコトヲ惡意ヲ以
テヤツタトキハ、單ニ千圓ノ罰金ト云フ
コトデハ輕イト思ヒマスノデ、サウ云
フ場合ハ一年以下ノ懲役若クハ禁錮ト
云フ自由刑ガ適用サレルコトニナッテ
居ルノデアリマス

○原委員 大體此法ノ立テ方ヲ伺ッタ
ノデアリマスガ、惡イ方ヲ見レバマダ
一年デハ足りナイ、惡辣ナコトヲヤツテ
預金ヲ集メテソレヲ喰ッテ行クヤウナ
銀行ナラバ、一年デモ足りナイ、併シ斯
フ云フ規定ノ仕方ニ依テ、左程惡クナイ
事業家ガ脅威ヲ受ケルコトモ考ヘナケ
レバナラヌ、嘗テ商法改正ノ際ニ、往年
吾々ガ司法省ニ居ッタ時ニ、蛸配當ナド
ヲ罰スルニ付テ重イ規定ヲ設ケヤウデ
ハナイカト云フトキニ議論ガアッタ、又
議會デモ隨分面倒デアッタ、其場合衆議
院ニ於テ法律ヲ以テ人心ヲ正サウト云
フコトハイカス、又鬼面人ヲ威スヤウ
ナ法律ヲ作ッテ、銀行會社ニ望ムコトハ
イカスト云フ議論モアリマシテ、ソレ
ガ勝ヲ制シタノデス、又刑事訴訟法ニ
於テ拘禁ハ二箇月以上ニ及ンデハナラ
スト云フコトガ本則デアアル、吾々モ其
積リテ協賛ヲ與ヘタノデアアル、所ガ今
日ハ六箇月モ七箇月モ拘禁シテ居ル、
サウ云フコトモアリマスカラ、餘程憤
重ナ態度ヲ以テ刑罰法ヲ決メナケレバ
ナラヌ、ソレデ一年以下ノ自由刑ト云
フコトヲ以テ臨マナイデモ、検査官ヲ
置イテ能ク検査ヲスレバ、本法ノ目的
トスル所ヲ達スルコトガ出來ルノデア
リマスカラ、斯ウ云フ重イ刑罰ヲ設ケ
ル必要ハナイト思フノデアリマス、ソ
レカラ次ニ三十四條ト三十三條ノ差違
デアリマス、三十三條ニハ免許ヲ受ケ
ナイ潛リ銀行ガ營業シタ場合ハ、五千
圓ノ罰金デアアル、サウシテ正當ニ免許

ヲ受ケタ銀行ガ、唯検査ヲ妨ゲタト云フダケデ、一年以下ノ自由刑又ハ千圓以下ノ罰金ニ處セラレル、斯ウ云フヤウナ刑ノ權衡ヲ得ナイノハ不都合ト思ヒマスカラ、此點ヲ承リマス

○八並政府委員 御尤ノヤウニ承リマスガ、能ク精細ニ三十三條ト三十四條ヲ御對照ニナレバ、權衡ヲ失シテ居ナイト思ヒマス、原君ノ御質問ノ御趣旨ヲ伺ヒマス、三十三條ノ制裁ハ重キニ過ギル、是ハ惡イ方面ノミヲ見テ居ルカラデハナイカト云フヤウニ聽取リマシタガ、決シテ惡イ方面ダケ見テ居ルノデハナイノデアリマシテ、惡クナイ場合モアリマスカラ、之ヲ緩和スル爲ニ、刑罰ノ範圍ヲ廣クシテアルノデアリマス、ソレカラ三十四條ト三十三條ハ釣合ガ取レナイ、モット釣合ノ取レル規定ニシテハドウカト云フ御話デアリマス、然ルニ無免許デ銀行業ヲヤツテ居ル者ハ、ソレダケノ信用ヲ大體ニ於テ有シナイノデアリマス、隨テ第三者ニ損害ヲ及ボスコトハ、三十四條ノ規定ノ如ク赤裸々ニ現實的ニ害ヲ及ボスコトハナイノデアリマス、又三十三條ハ検査ヲ嚴重ニヤレバ無免許デ銀行業ヲヤルヤウナ者ハナクナルノデアリマシテ、公衆ニ損害ヲ及ボスコトハ比較的少イノデアリマスガ、三十四條ニアル、行爲ハ非常ニ損害ヲ及ボス場合モアル想像スレバ非常ニ弊害ヲ來スト云フ場合モ想像シ得ルノデアリマス、

ソコデ法ノ立方ト致シマシタナラバ、矢張弊害ノ最モ多イト云フコトモ見テ置カナケレバナラス、併シ法律ノ罰則規定ト云フモノハ、斯ウ云フ規定ヲ必ズ適用スル事實ガ出來ルコトヲ希望シテ居ルノデハナイノデアリマス、相成ルベクハ、此罰則規定ト云フモノハ適用ノナイコトヲ、政府トシテハ又一般民衆トシテハ希望スル所デアリマス、併ナガラアツタ場合ハドウスルカ、萬一ノ場合ヲ想像シテ法律ト云フモノハ作テ置カナケレバナラス、是ハ私ガ申上グルコトハ、原君ニ對シテ却テ失禮デアルト存ジマスカラ止メマスガ、サウ云フ譯デ出來テ居ルコトヲ御承知ヲ願ヒタイ、ソコデ決シテ其間ニ釣合ガ取レテ居ラヌト云フコトハナイト斯様ニ信ジテ居ルノデアリマス、ソレカラモウ一ツ申上ゲテ置キタイノハ、三十四條ノ規定ノ罰則ハ、一年以下ノ懲役又ハ禁錮ト云フモノハ、商法ノ規定ノ三百六十一條ノ中ニモ殆ド同一程度ノ規定ガアルノデアリマス、此權衡カラ申シマシテモ、現在ノ時勢カラ申シマスナラバ、一年以下ノ懲役又ハ禁錮、又ハ千圓以下ノ罰則ニ處スルト云フコトハ、相當立法ノ遣方デハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルコトヲ申上ゲテ置キマス

○原委員 是ハ本當ノ最後デス、今ハ並君ノ御答辯ハ私ノ質問ニ裏書サレタヤウナモノデアリマス、詰リ三十四條ノ一般認可ヲ受ケタル銀行ニ於テ、一

番他ニ損害ヲ及ス場合モ假定シ、又三十三條モ無免許ノ奴等ガ大袈裟ナコトヲヤツテ、大損害ヲ與ヘルト云フヤウナ場合ト、兩方比較シタナラバ、矢張刑罰デアルカラ、ドウ云フコトガ起テ來ルカ分ラヌカラ、矢張同等ノ刑罰ノ盛方ヲヤラナケレバナラスト云フ一體御説明ニナルカト思フノデアリマスガ、是等ハ意見ノ相違デアリマスカラ、私ハ茲ニ新ニ間ハムトスル所ハ、此三十四條以下ノ取締役監査役ト云フ文字ガ竝ベテアリマスガ、此取締役監査役ト云フモノハ株式會社デハ數人アルコトヲ豫想スルノデスガ、然ル所此取締役ハ取締役ト云フ名前サヘ掲ゲテ居ル者デアツタナラバ、全部是デ處罰スル積リデアルカ、或ハ其議ニ干與シテ承認ヲ與ヘタル取締役監査役ダケヲ言フモノデアルカ、之ヲ伺ツテ置キマス

○八並政府委員 三十四條ノ取締役監査役其他ノ名前ガ別記シテアリマスルガ、只今御質問ノ通りニ取締役ト云フ者モ數人アルシ、監査役ト云フ者モ數名アル場合ガ無論アルノデアリマス、其場合ニ於キマシテ、第一第二ニ記載シタル事實ニ干與シタル者ガ此規定ニ當僉ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス

○原委員 宜シウゴザイマス

○前田委員 委員長、議事進行ニ付テ——本案ノ意見ヲ纏メル爲ニ暫時休憩セラレンコトヲ希望致シマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○小野委員長 ソレデハ暫時休憩致シマス

午後三時四十五分休憩

午後四時三十五分開議

○小野委員長 休憩前ニ引續イテ之ヨリ再開致シマス

○小川委員 討論ニ這入ッテ差支アリマセヌカ

○小野委員長 之ヨリ討論ニ入りマス

○小川委員 私ハ銀行法案ニ付キマシテ二三ノ修正ヲ加ヘマシテ原案ニ贊成ヲシタイト思ヒマス、本案第三條ニハ「銀行業ハ資本金百萬圓以上ノ株式會社ニ非サレハ之ヲ營ムコトヲ得ス」ト云フコトニ原則ヲ定メテアリマス、併シ人口一萬未滿ノ地ニ於ケル銀行ノ如キ小サイ銀行ヲ、百萬圓ノ資本金ヲ有スル株式會社トスルコトハ甚ダ困難デ、今日ノ實際ノ事情ニ適切デナイ恐レガアリマス、ソコデ原則ハ資本金百萬圓ニ定メテ置キ、人口一萬未滿ノ地ニハ資本金五十萬圓以上ノ銀行ヲ認メタイト思フノデアリマス、本案ニハ小銀行ノ資本金ヲ百萬圓以上トナス爲ニ、猶豫期限ガ設ケテアリマス、ソレハ七年若クハ十年ト云フコトニナツテ居リマスガ、前申ス趣旨ニ依テ最低資本金額ニ關シ修正ヲ加ヘマス、其猶豫期間モ短縮シテ差支ナイコト、思ヒマス、ソレデ其猶豫期間ヲ總テ五年ニシタイト思ヒマス、尙ホ銀行ノ兼業ニ付テハ第

五條ニ依テ擔保付社債信託業ノ外將來禁止セラレルコトニナリマスガ、ソレニ付キマシテハ三年ノ猶豫期間ガ與ヘラレテアリマス、今之ヲ改メ五年ノ猶豫期間ニシ、以テ總テノ場合ニ於テ猶豫期間ヲ五年トスルコトニ統一シタイト思フノデアリマス、其趣旨ニ依リマシテ次ニ讀上ダマスヤウナ條文ニ修正シタイト思ヒマス、銀行法案中左ノ通修正ス第三條第二項中「七年」トアルヲ「五年」ニ改ム、第四十條中「七年」トアルヲ「五年」ニ改ム、第四十一條第一項中「七年」トアルヲ「五年」ニ改メ、第二項ヲ左ノ通改ム、命令ヲ以テ定ムル人口一萬未滿ノ地ニ本法施行ノ際現ニ本店ヲ有スル銀行ニ付テハ、第三條第一項本文ノ規定ヲ適用セズ、但シ其ノ資本金ハ本法施行後五年内ニ五十萬圓以上ト爲スコトヲ要ス、第四十二條中「三年」トアルヲ「五年」ニ改ム、法文ノ修正ハ斯ノ如キモノニシタイノデアリマス、銀行法案以外ノ四法案ハ總テ原案ニ贊成シタイト思ヒマス

○加藤委員 只今小川委員カラ修正意見ガ出マシタガ、私共ハ此年限ガ七年後デアル旁此原案ノ百萬圓デモ強イテ故障ハナイト云フ考デアリマシタケレドモ、地方ノ狀況ヲ考ヘテ見マスト云フト人口一萬未滿ノ土地ノモノニ百萬圓増資ヲ強制スルト云フコトハ、幾分穩當ヲ缺クノ虞ガアリマスノデ、今小川委員ノ修正意見ノ通り之ヲ五十

萬圓トシテ、年限ヲ短縮スルト云フコトニ贊成ヲ表シマス

○木暮委員 私ハ只今述ベラレタ小川君ノ修正意見ニ贊成ヲ表シマス同時ニ、現在金融界ノ有様ニ鑑ミマシテ、三項ノ希望條件ヲ提出スルモノデアリマス、極メテ簡單ニ之ヲ讀ンデ説明致シマス、詳細ノコトハ何レ本會議ニ於キマシテ申上ゲタイト考ヘテ居リマス、其一ツハ「銀行監督ノ徹底ヲ期シ且ツ銀行検査官ノ任用ニ付テハ特別任用ノ途ヲ開カレムコトヲ望ム」ト云フノデアリマス、之ハ政府ガ庶幾スル所ノ銀行監督ノ趣旨ヲ達成スル上カラ申シマシテモ、之ヲ特別任用ニスルコトガ宜カラウト私共ハ考ヘテ希望スル次第デアリマス、第二ハ「普通銀行ノ不動產資金化ニ付適當ナル方法ヲ講セラレムコトヲ望ム」是モ御説明申上ゲルマデモナク、今日地方ノ普通銀行ニ於キマシテ、不動產ガ資金化セラレタ爲ニ、幾多ノ弊害ヲ生ジテ居リマスノデアリマス、此點ニ付キマシテハ速ニ政府ニ於テ適當ナル普通銀行ノ不動產金融、勸業銀行ト農工銀行トノ聯絡脈絡ト云フモノニ付テ適切ナル方法ヲ講セラレタイト云フ趣旨デアリマス、第三ハ「本法規定ノ最低資本金額ニ達スル爲ノ資本ノ増加ヲ行フ場合ニハ、特ニ從來ノ狀況ニ鑑ミ、適切ニ認否ヲ決セラレムコトヲ望ム」、是ハ御承知ノ通りニ從來ハ是カラ起ル將來ノ銀行ニ對スル資本金ヲ内規ニ依テ

決メテ居ッタモノヲ、將來ハ勿論現在アル銀行ニ付キマシテモ、法定ノ資本金ヲ以テ強制スルト云フノデアリマス、此事ノ善イコトハ勿論デアリマスガ、幾分力茲ニ増資ヲ致シマスル場合ニハ、寛大ナル御手心ヲ加ヘテ實情ニ合フヤウニシテ戴キタイト云フ趣旨デアリマス

○川崎委員 只今木暮君ノ述ベラレタ希望條件ハ、相當理由アルモノト認メマスカラ同意ヲ致シマス

○金光委員 木暮君ノ希望條件ニ贊成致シマス、ソレカラ尙ホ小川君ノ修正意見ニ贊成致シマス

○小野委員長 別ニ他ニ御發言ハ無ササウデゴザイマスカラ採決ヲ致シタイト思ヒマスルガ、私ハ甚ダ經驗ガナイノデ、一應諸君ニ御諮リ致シタイト思ヒマスコトハ、採決ノ前ニ念ノ爲ニ政府當局ノ之ニ對スル御意見ヲ伺ッテ置ク方ガ宜シカラウト思ヒマスルガ、諸君ノ御意見ヲ伺ヒマス

「贊成々々」ト呼フ者アリ「政府當局ノ御意見ヲ伺ッテ置キマス

○片岡國務大臣 小川君ノ修正ノ御意見ニ對シテハ、政府ハ同意ヲ表シマス、今一ツ木暮君ノ希望條件デアリマス、是モ御希望トシテ無理カラヌコト、存ジマス、其内特別任用ノ御希望デアリマス、實ハ政府ハ殆ド總テノ官吏ヲ特ニ決メマシタモノ、外ハ特別任用ノ制ニ改メタイト云フ意見ヲ持ッテ居リマス、併シハ樞密院ノ同意ヲ得ナクチ

ヤナラヌ、如何ニ進行致シマスカ、コチヲノ方デハ今批評スル譯ニ參リマセヌ、斯ル關係ガゴザイマスカラ御希望トシテハ無理カラヌ御希望デアルト考ヘルノミナラズ、斯ウ云フ實際ノ狀況ヲ取調ベマス者ハ、學校出ノ其儘デ行ケルモノデナイ、實際ノ經驗ヲ經タ者ガ最モ良イノデアアル、併シ實行上ニ付テハ唯大藏當局ダケデ其事ガ行ハレルト云フ譯ニモ參リマセヌカト存ジマスカラ、御希望トシテハ無理カラザル御希望ト承ッテ置キマス、其他ノ御希望ニ對シテモ別ニ反對ヲ表示シナケレバナラヌト云フコトハナイト存ジマス

○小野委員長 一寸、大藏大臣ノ今ノ御意見ハ、成ベク希望ニ副フモノデアルト云フコトデスカ、唯批評的ニ無理カラヌト云フコトデ批評ヲサレルダケノコトデスカ、念ノ爲ニ伺ッテ置キマス

○片岡國務大臣 委員長ハ暫ク役人ヲサレテ居ッテ、ソレダケノ此經驗ハアル筈デアリマス、當局者トシテハ斯ウ云フ返事ヲスルヨリ外ニ出來ヌ筈ノモノデアリマス

○小野委員長 希望條件ヲ提出セラレ且ツ之ニ同意サレタル諸君ハ、大藏大臣ノ御答辯デ宜シウゴザイマスカ

「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○小野委員長 分リマシタ、私ハ先程申ス通り甚ダ無經驗デアリマスカラ、モウ一ツ諸君ニ御諮リヲ致シタイト思

ヒマスルガ、先程小川君ノ提出サレタ修正案ノ中ニ「七年トアルノヲ」「五年」ト云フコトヲ始終言ハレタノデアリマスガ、是ハ括弧七年括弧ト云フコトガ漏レタノデアリマセウガ、併シ「七年トアルヲ」ト云フコトヲ特ニ入レル必要ガアリマスカ、私自身デハ括弧七年括弧ヲ宜シイヤウニ思ヒマスガ……

〔委員長一任〕ト呼フ者アリ

○小野委員長 是ハ委員長ニ御委セ下サイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○小野委員長 宜シウゴザイマスカ、是ヨリ採決ニ入リマス、全部——修正希望條件共ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○小野委員長 ソレデハ其通り決定ヲ致シマス、尙ホ本會議ニ委員長報告ヲ致シマス際ニ、不得手ナル私デアリマスカラ、其報告ニ於テ誤ガアルカモ知レヌト思ヒマス、不十分ノ點ガアレバ其點ハ諸君ノ御補正ヲ願ヒタイト云フコトヲ豫メ御願致シテ置キマス、尙ホ外ノ四件即チ貯蓄銀行法中改正法律案、農工銀行法中改正法律案、北海道拓殖銀行法中改正法律案、非訟事件手續法中改正法律案ハ、原案通り決定致シテ宜ウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○小野委員長 其通り決定ヲ致シマス、散會ニ先ダチマシテ御諮リヲ致シタイコトハ、兌換銀行券ノ整理ニ關スル法律

案ガ當委員會ニ付託ニナツテ居リマスカ、政府ノ御希望ハ、會期モ大分切迫シテ居リマスカラ、此銀行法案外四件ハ多分火曜日ノ本會議ニ上程ニナルト思ヒマスガ、其前ノ日、委員會ノ定日ナル月曜日ヨリ兌換銀行券整理ニ關スル法律案ノ審議ヲ始メテ貫ヒタイト云フ御註文ガアルノデアリマス、諸君ニ御諮リヲ致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○小野委員長 然ラバ月曜日ノ午前十時カラ兌換銀行券整理法案ニ付テ審議ヲ致シマス、本日ハ是デ散會ヲ致シマス

午後四時五十二分散會

昭和二年三月五日印刷

昭和二年三月七日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社